

RealTime-Glo™ MT Cell Viability Assay Protocol

INSTRUCTIONS FOR USE OF PRODUCTS G9711, G9712 and G9713

1. 細胞培養表面処理済みの 96well 白クリアボトムプレートもしくはソリッドプレートに任意の細胞数で 50uL ずつ播種する。
また、バックグラウンドとして、細胞を含まない培地だけの well も準備する。
2. 翌日、下記の表を参考に RealTime-Glo™ とテスト化合物を含む培地を調製する。

Component	volume	x サンプル数	= 合計
培地, 2x テスト化合物	49.8 μ L		
MT Cell Viability Substrate	0.1 μ L		
NanoLuc® Enzyme	0.1 μ L		
Final volume per sample	50 μ L		

3. 50uL の RealTime-Glo™ 試薬とテスト化合物を含む培地を細胞に添加する。
4. 37°C インキュベーターにて、10 分以上培養する。
5. 任意のタイムポイントにて、発光測定する (72 時間まで繰り返し測定可能)。

(その他の情報)

- RealTime-Glo™ は細胞の種類により、細胞数の測定範囲が異なります。
このため、RealTime-Glo™ のマニュアルを参考に、あらかじめ予備実験を行い、測定できる細胞数を決定してください。
- ステップ 1 で細胞を 100uL ずつ播種し、ステップ 2 の前に培地を 50uL 除去することも可能です。

この Quick Protocol は TM431 を基に作成された簡易型のプロトコルです。
最新、詳細なプロトコルについては www.promega.com/protocols をご覧ください。

技術的なお問合せは：
e-mail: prometec@jp.promega.com ・ Tel: 03-3669-7980 ・ Fax: 03-3669-7982
www.promega.co.jp